全アロン防水組合発展ビジョン＊1　第42期(2022/7～2023/6）活動計画及び基本方針に対する具体策（振り返り）

全アロン防水組合基本方針	重　点　施　策	目 標 値 ・ 指 標 等	振り返り・達成状況(○：達成、●：未達　―：中止)	SDG s への貢献
1.社会的責任の遂行、法令順守の徹底 (1)建物の長寿命化による社会貢献の遂行 (2)関係法令・社会規範の順守 (3)環境に配慮したものづくりの推進 (4)チャリティ募金の継続	【社会的責任、法令順守】 ・アロン建材製品を用いたトータルメンテナンスを提案する ・公共建築改修工事標準仕様書(令和4年度版）に外壁用塗膜防水材が継続して掲載されたことのＰＲを行う ・関係法規の順守徹底を強化し、不正行為を撲滅する ・環境に配慮した工法・製品を提案し、施工を行う ・福祉活動としてチャリティー募金活動を実施する	【社会的責任、法令順守】 ・販売数量　2,043ｔ以上/年 ・あゆみに法令の改正等に関する掲載を行う ・水系化：水系プライマーの拡販　130ｔ（1,300千㎡分　前期実績　　126ｔ） ・水系化：水系仕上塗料の拡販　315ｔ（900千㎡分　前期実績　　299ｔ） ・屋根用遮熱仕様化：MDクールカラーSiの拡販　40ｔ（133千㎡分　前期実績　44ｔ） ・外壁仕上塗料高耐久化：フッ素・シリコンの拡販　164ｔ(547千㎡分　前期実績　154ｔ） ・SQ－M工法の普及：専用下地調整材の拡販　55ｔ（28千㎡分　前期実績　54ｔ） ・SQ－AS工法の普及：QDセッターSの拡販　30ｔ（40千㎡分　前期実績　38ｔ） ・下地挙動緩衝材の普及：ＳＨの拡販　4.6ｔ（185千ｍ分　前期実績　4.5ｔ） ・通常総会時の継続行事として実施する	・●　1,397t　68% ・●　インボイス制度への対応、新しい化学物質の規制を記載 ・●　水系ﾌﾟﾗｲﾏｰ実績　109ｔ 目標比 84%（前期比 86%） ●　水系ﾄｯﾌｺｰﾄ実績　232ｔ 目標比 74%（前期比 77%） ○　MDクールカラー実績　59ｔ目標比 147 %（前期比 132%） ●　高耐久化塗料(外壁用)実績　119ｔ 目標比 77%（前期比 77%） ●　SQ-M専用下地調整材実績　50ｔ 目標比 90%（前期比92%） ●　QDｾｯﾀｰS実績　32ｔ 目標比 79%（前期比62%） ●　ｱﾛﾝｳｫｰﾙSH実績　4.4t 目標比 95%（前期比97%） ・○　2023年（第41期)40周年記念総会パーティで実施	
2.組合運営の基盤強化 (1)組合員数の増員 (2)組合員の販売数量増強 (3)組合員、商社、メーカーによる三位一体の強化 (4)組合員のヘルスケア向上	【組合員の増員と営業力強化】 ・各支部は、組合の基本理念とビジョンを良く理解し、行動指針を順守できる施工店の入会を検討する ・各支部は、組合員と個別に目標数量と施策を定め、目標管理を継続して実施する ・組合目標管理として取り決めた施策を実施する ・組合員社員の健康・メンタルヘルス対策の実施	【将来に向けて組合員の増員と販売量増加】 ・全国で240社を指標とし、増員を図る(第39期　210社　第40期　212社　第41期　212社） ・1社当たりの販売数量　8.0ｔから10ｔへ ・メーカー表彰対象者数　23社から40社へ（第40期34社） ・5ｔ未満の組合員数　78社から76社へ（第40期87社） ・目標を達成した社数　46社から63社へ（第40期55社） ・ヘルスケア対応アプリ等の活用検討	・○　全国で240社　第42期　219社(入会7社 退会0社） ・●　6.4t（前期8.0t） ・●　18社（前期23社） ・●　87社（前期78社） ・●　38社（前期46社） ・○　組合員向けにアンケート調査を実施した	
3.組合活動の強化 (1)支部活動の活性化 (2)技術委員会成果の実効化 (3)総務営業委員会成果の有効活用 (4)組合発展ビジョン(SDGs)推進委員会成果の有効活用	【組合活動】 ・各支部の若手の活性化策として営業提案ツールを武器に管理士会の質の向上、組合員の店別管理士会の開催促進、支部間交流会を通じてレベルアップを図る ・アロンコートＳＱ技能工、調査診断・防水管理士の増加 ・認定証自動発行システムの運用開始による責任施工体制の維持 ・アロンマイスター制度の実施 ・組合員が提案営業に活かせるよう営業提案ツールの周知活動を行う ・入職者増加および離職者防止対策の実施	【組合活動】 ・営業提案ツールの周知活動を全支部で実施 ・調査診断・防水管理士検定　　合格者100名以上/年間 ・アロンコートＳＱ技能工検定　合格者25名以上/年間 ・全認定証をカードタイプに更新作業を実施 ・アロンマイスター制度の実施 ・営業ツールの周知 ・入職者増加および離職者防止の対策ツール作成と活用	・○　全支部実施 ・●　66名(北海道23名 東北10名 関東 11名 東海12名 四国 8名 九州2名） ・●　コロナ禍の影響で試験回数が少なく13名 ・○　第42期末にほぼ完了 ・○　アロンマイスター8名、アロンジュニアマイスター1名を認定 ・○　各支部において管理士会、店別管理士会、説明会等を実施 ・○　「未来設計プロジェクト」リーフレットを30部/社に配布	
4.重大な品質問題の絶無 (1)プライベートライセンス制度の維持 (2)技能検定(防水施工-アクリルゴム系塗膜防水工事作業)の受検対策の強化 (3)標準仕様書に基づく品質管理の徹底	【品質】 ・アロン建材スクール等を利用して、各社選任者を確保する ・組合員への受検者増加対策を実施とＮＢＫ、ＧＳＫ等の外部団体と協力を行い、受検しやすい環境を整備する ・調査診断・管理士会の講習会やアロン建材スクール等を用いて施工技術の向上を図る	【品質】 ・重大な品質問題の発生　0件 ・各支部による検定試験の実施 ・技能検定受検者数の維持　100名以上/年間 組合関係者の受検　30名以上/年間 ・建材スクールの参加者　50名以上/年間 再発防止対策資料の作成	・○　重大な品質問題の発生なし ・●　8支部にて実施 ・○組合関係者　36名受検し17名が合格 ・○　59名（北海道32,東北2,関東7,東海2,近畿4,四国8,九州4） ●　災害防止対策資料を先行した	
5.重大な公衆災害・労働災害の根絶 (1)リスクマネジメント活動の徹底 (2)意識向上のための啓発活動実施	【リスクアセスメント】 ・組合ＨＰに掲載しているリスクマネジメントシートの活用 ・安全衛生教育の実施	【リスクアセスメント】 ・組合員の重大な公衆災害及び労働災害　0件 ・機関紙「あゆみ」に災害防止に関する記事を掲載 再発防止対策資料の作成	・○　重大災害　　0件　（軽微な災害　　16件） （アンケート集計　回答社） 【公衆災害5件の内訳】　飛散　3件　その他　2件 【労働災害11件の内訳】不注意や過信による転落・転倒　2件 裂傷　4件　熱中症・他　5件 ・○　あゆみ265号にはしご・脚立からの墜落・転落に関する記事掲載 ・○　飛散(公衆災害)、転落(労働災害)防止の資料作成	
6.生産性の向上 (1)時短に向けた効率の高い施工方法の開発 (2)ベテラン技能者、女性技能者の活用 (3)技能者に対する社会保険等への加入促進	【生産性向上】 ・機械化・省力化工法の普及 ・幅広い技能者の活用を啓蒙する ・有能な技能者の確保のために建設業退職金制度(建退共)への加入促進	【生産性向上】 ・施工見学会の実施や動画などのﾂｰﾙ作成 ・機関紙「あゆみ」に建設小町等の関連記事を掲載し、啓発活動を実施 ・入職者向けや離職防止のためのリーフレット作成 ・機関紙「あゆみ」に関連記事を掲載し、啓発活動を実施	・●　支部行事で予定したが実施できず ・○　アロンマイスターへのインタビュー記事を掲載 ・○　「未来設計プロジェクト」リーフレットを30部/社に配布 ・○　入職の可能性がある若い人たち向けのリーフレットを紹介	

＊1　組合発展ビジョンは、定期的に振り返りと達成状況を確認し、適宜見直しを実施いたします。

＊2　人数の目標値は、「コロナ禍の影響がない場合」を想定しています。